

会 議 録

会議の名称	第8回米山地域学校再編準備委員会	
開催日時	令和2年 9月 9日 (水)	
	午後 7時 00分 開会	
	午後 8時 10分 閉会	
開催場所	米山総合支所 2階大会議室	
委員出席者	渥美 雅彦 委員長	米岡小学校PTA顧問
	伊藤 美和 委員	米山中学校PTA
	主藤 正晃 委員	米山東小学校PTA会長
	久保 泰宏 委員	米山中学校学校運営協議会長
	浅野 昭一 委員	米岡小学校学校運営協議会長
	登坂 佳子 委員	中津山小学校学校運営協議会
	高橋 正司 委員	米山東小学校学校運営協議会長
	佐藤 美紗登 委員	米山東幼稚園PTA会長
山家 瑞恵 委員	米山西幼稚園PTA会長	
事務局出席者	小林 和仁	学校再編推進室長
	岩淵 裕喜	学校再編推進室学校再編推進係長
	佐藤 鷹彦	学校再編推進室主事
	佐藤 春香	学校再編推進室主事
説明員	箕浦 国彦	総務課公共施設利活用専門監
	佐藤 旭信	総務課財産係主査
欠席者	主藤 敏寛 副委員長	米山町行政区長会会長
	佐藤 雄亮 委員	中津山小学校PTA会長
	菅原 拓巳 委員	よねやま保育園保護者会長
傍聴者	0名	
議事	(1) 米山地域学校再編実施計画(案)について (2) 開校準備委員会の概要について (3) 米山地域における公共施設等整備計画について (4) その他	
挨拶	事務局	開会 午後7時00分
	委員長	開会挨拶
	事務局	(前回会議及び今回会議の議事の内容について確認)
	委員長	議事(1)米山地域学校再編実施計画(案)について事務局に説明を求める。
	事務局	(資料にもとづき米山地域学校再編実施計画について説明)
	委員長	事務局の説明に対して確認事項、質問はあるか。 (無いとの声あり)
委員長	審議案件(1)については了解を得たものとする。次に、審議案件(2)開校準備委員会の概要について事務局に説明を求める。	

事務局	(資料にもとづき開校準備委員会の概要について説明)
委員長	事務局の説明に対して質問はあるか。
委員	委員会と部会という形とのことだが、部会員は委員会の中から誰か出すのか。それとも新たに出してもらうのか。
事務局	まだ確定していないが、部会の場合は保護者や学校の教職員が一つの学校に集まって打合せをする形で考えている。
委員長	他に質問等あるか。 (無いとの声あり)
委員長	審議案件(2)については了解を得たものとする。次に、審議案件(3)米山地域における公共施設等整備計画について事務局に説明を求める。
説明員	(資料にもとづき米山地域における公共施設等整備計画について説明)
委員長	事務局の説明に対して質問等はあるか。
委員	再編準備委員会の立ち上げ時はPFI事業の話はなく、この話が出た後は同時進行となっている。今年度中に結論が出るとのことだが、どちらになるかはっきり分かるのか。
説明員	今年度中に施設の配置図と、金額面でPFIという手法が適しているかという調査になる。どのような複合施設にするかは今年度中に固まる。手法の検討は別の話となり、米岡小学校の劣化診断調査も行っているが、今年度中には方向性が決まるかと思う。
委員	劣化診断調査の結果は後日か。
事務局	説明できる段階になれば説明させていただく。
委員	今までの学校再編準備委員会から(仮称)開校準備委員会に移行するというのでよいか。
事務局	建物の判断が出てから地域別学校再編実施計画を取りまとめることになり、その後、学校運営のソフト面を決める開校準備委員会に移行していく。
委員	複合施設に小学校をつくる場合、一番必要なのは駐車場である。雨天時には車で送迎される子どもたちが多く、安全性を考えた広い駐車スペースが必要である。今まで協議してきたが、PFI事業に半分以上お願いするという方向でよいということか。

説明員	文部科学省の委託を受けて複合施設の検討を行い、今年度末にはどのような複合施設になるか見えてくると思うが、最終的には議会の決定になる。今の段階で完全に移行することにはならないため、並行して行っている。
委員	米岡小学校の位置となっても、P F I で新校ができたとしても開校準備委員会は残るのか。
事務局	もし、P F I 事業となったとしても、ならなかったとしても学校再編ということで結論は出していただいております、開校準備委員会で学校運営について検討いただくことになる。
委員	計画では現総合支所の建物部分を統合小学校にするとなっている。米岡小学校の劣化診断調査で改修費を算出すると思うがどちらが早く進むのか。
事務局	これまで再編新校は米岡小学校の位置ということでまとまっている。P F I の計画が具体化に進んでいるところだがどうなるか分からない状況のため、米岡小学校の建物も調査している。同時並行で進めて今年度中にはっきりさせたいという形である。
委員	昔、吉田地区で電話を引くとき農集電話だった。10年の償還期限で債権となった。
説明員	市で建物を建てる際は一括払いとなるが、借りる場合は様々な手法があり、例えば民間で建ててから管理費や使用料込みで毎年払っていくという方法がある。
委員	米岡小学校に位置が決まって劣化診断調査を行っているが、P F I 事業が決定すればそちらにシフトするのか。
事務局	米岡小学校の活用という結論を頂いたが、もしP F I 事業が活用できるとなれば移行したいという意見も頂いている。
委員	劣化診断調査の結果がどうであってもP F I 事業が活用できるとなれば米岡小学校は活用せず、開校準備は進めていくということか。
事務局	建物の考え方は同時並行で進めているが、学校再編は実施するという意見を頂いているため開校準備は進める。
委員	米岡小学校が劣化診断調査の結果から使用できなくなった場合、P F I と同時並行では費用が無駄になると思うがそのまま進めていくのか。
事務局	P F I の事業を活用することになれば、米岡小学校の改修については行わないことになる。
委員	P F I 事業が途中で実施できなくなる可能性はあるのか。

事務局	今年度中に施設活用の結論が見えてくるということで、どちらの方法で進めていくか検討する必要がある。
委員	まちづくりワークショップに参加すると複合施設の検討の第一線で意見できるということか。
説明員	アイディア出しの形となり、決められた敷地の範囲の中でこれから必要な建物の機能の優先順位まで詰めていきたい。最終的に建物の部分については、米山地区の事業推進研究会へワークショップでまとめた意見を移していきたい。
委員	米岡小学校の劣化診断調査が夏頃までにできるとのことだったが、なぜ長引いているのか。
事務局	劣化診断調査は終了しており、8月末に一度事業者から大まかな改修内容については報告があった。その上で具体的な内容を事業者から提示されるのが10月末となるため、それ以降に改めて説明できると思われる。
委員	劣化診断調査の結果はどうだったのか。
事務局	建物のコンクリートの腐食の状況といった部分になるが、建物の構造体には問題ないとのことだった。設備については古いため更新が必要であるという話があった。
委員	建物自体は使用できるが教室数などそのままでは使用できないと思う。
事務局	内装、外装や機械設備などで使用するのに危険な箇所は更新が必要という話も頂いている。
委員	教育委員会としては米岡小学校の校舎を使用する予定なのか。総務課では複合施設に小学校も入れられるのではないかという話である。市の財政が厳しい状況で、なぜ無駄な事業をしなければならないのか。ここまで結論が出ておらず、無駄なお金を動かしている感じがする。早く総務課と教育委員会が一体となって話を進めてほしい。
説明員	劣化診断調査が無駄になるかどうかの判断については、仮に複合施設ができるとなれば米岡小学校の校舎は使用せずに市の財産となるが、民間への提供など米岡小学校を活用する際に劣化診断調査の情報を建物の価値の判断材料とすることができるため、無駄になるとは考えていない。
委員	残りの中津山小学校と米山東小学校も劣化診断調査を行うのか。
説明員	民間へ提示する際には情報がないというお知らせの仕方になる。
委員	ワークショップは文部科学省の補助制度を利用して実施するとのこと、先ほどワークショップでの意見を別ところで生かすという話があっ

		たがどうということか。
説明員		文部科学省の補助事業の中でワークショップをする組織と米山地区事業推進研究会をこれから立ち上げる予定である。連結する形で施設の使い方や中身についてはワークショップでまとめ、ハード部分は事業推進研究会でまとめるという流れである。
委員		ワークショップでの内容が無駄になることもあり得るのか。最終結論としてPFI事業が無理だとなった場合、集まって今後の米山地区のことを考えて話し合いをしてもいつか建て直す際に意見が生かされればよいが、時代が変わればもう一度ワークショップをすることになると思う。確定してやるものとどちらか分からないがとりあえずやるものでは気持ちの入り方も違うのではないか。
説明員		今回のワークショップでこういった施設が欲しいという案を出して平面図で配置を決め、事業推進研究会で全体的な敷地に駐車場の部分、学校のエリアなど優先順位をつけて必要なものを入れる。最終的に金額を試算するが、PFI事業として民間が手を挙げられる事業なのか、または市で負担が少なく済むのかは絵を描いてみないとその金額が出ない。昨年のフォーラムの案のままではなく、米山地区の住民や施設利用者の意見を反映した形でない現実的なものには近づかない。
委員		本来は劣化診断調査をするのは再編新校の位置を米岡小学校としたからであって、その位置でなくなった場合は他の目的で調査結果を活用するので無駄にならないというのは話にならない。PFI事業には調査費がついており、調査としての成果をまとめなければならず、市の財政が厳しいならこの事業に移行すればよいと思う。
委員		タイミング的にそうってしまったため、分かりづらい部分もあると思う。今年度は状況を見守るしかないと思う。
説明員		PFI事業の調査と劣化診断調査を並行して進めているが、最終的には絵を描いて事業費が出て、予算化をしていくのに議会の承認をいただくことがスタートラインとなる。調査で皆さんの声を聞き、施設をなるべく使いやすいように計画をしていきたい。議会での審議によっては変更の可能性があるため、同時並行で行っていることをご理解いただきたい。
委員		もし劣化診断調査で体育館の改修が必要とされても、校舎だけで体育館は改修できないということもあるのか。
事務局		再編新校の位置については意見を頂いており、その位置に対して改修工事を行っていきたいと考えている。
委員		必要な部分を削るということはあるのか。
事務局		3校の統合に必要な改修は行うこととしている。

委員	P F I 計画の公共施設エリアにある体育館は小学校で使う体育館か。よ ねやまスポーツクラブが使用する体育館は別の場所になるのか。
説明員	複合施設の内容検討はこれからになる。
委員長	他に質問はあるか。無いようなので審議案件（４）その他について事務 局から何かあるか。
事務局	次回会議日程だが、後日、委員長と相談し、事務局で調整させていた きたい。
委員長	劣化診断調査の結果を考えると次回は 10 月末頃か。
事務局	事業者からの報告をまとめて調整し、11 月頃になるかと思う。
委員長	以上で本日の会議を終了する。
	閉会 午後 8 時 1 0 分